



ふくもっちゃんの部屋 ～ふくよみの日～

みなさんはふくよみの日を知っていますか？

福島市では毎月24日を「ふくしま読書の日」（通称：ふくよみの日）と定め、図書に関するイベントを行っています。

☆貸出2倍キャンペーン☆

令和5年4・7・10・12月、令和6年3月24日は通常10冊の貸出冊数が20冊になります。10月のみ25日（水）開催となりますので、お気を付けください。

☆FMポコ ふくよみタイム☆

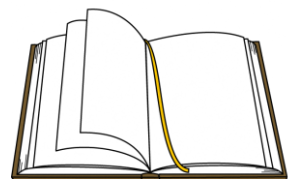
毎月第4金曜日午後4時15分～4時20分に、ラジオFMポコで図書館司書がイベント情報やおすすめの本を紹介します。

☆イベント☆

市立図書館本館・分館、学習センター図書室ごとに様々なイベントを企画しています。詳しくは福島市立図書館のホームページや広報誌をチェックしてみてください。

西口ライブラリー過去のイベント例：「あなたの1冊占います！図書みくじ」

金運・健康・恋愛など、くじを引いて出たテーマの本を借りていただく企画です。



「ライブラリー福袋」

どんな本が入っているかは、開けてみてのお楽しみ！司書が選んだ3冊1セットの福袋です。

図書館カレンダー 7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

図書館カレンダー 8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

印は休館日

2023年7月1日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
Tel.024-525-4023

発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
Tel.024-531-6551

《図書館ホームページ》





福島市西口ライブラリー広報

西口ライブ発信

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

2023年
7・8月号

新着本案内



『こんとんの居場所』

山野辺 太郎 著

国書刊行会(F-ヤマノ)

無職の純一は、別れた彼女ともう一度話すきっかけをつくるため、職に就くことを決心する。見つけた求人は「混沌島取材記者」というもので、不審に思いながらも応募すると即採用となった。そして純一は混沌島を目指し船に乗り込むが…。



『ティラノサウルス解体新書』

小林 快次 著

講談社(457-コバヤ)

ティラノサウルスとはどのような恐竜だったのか？ 地球環境の変化から読み解く進化の過程、生活と身体能力、羽毛やウロコの有無…。恐竜研究の第一人者が、近年の研究成果を踏まえ、その姿を詳らかにします。



『脱炭素のビジネス戦略と技術がこれ1冊でしっかりわかる教科書』

本橋 恵一 著／技術評論社(519-モトハ)

脱炭素とは、地球温暖化の主な原因である温室効果ガスの排出を削減する取り組みのことです。本書では、脱炭素の現状とEV化を始めとした様々な対策を、わかりやすく解説します。正しい情報を身につけ、地球の未来を考えてみませんか？



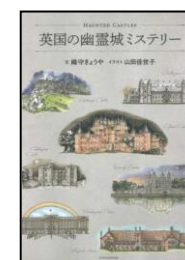
『見わけがすぐつく樹木図鑑』

宮内 泰之 監修

成美堂出版(653-ミワケ)

イチヨウやマツといった身近な樹木約480種について、見分け方や特徴を画像とともに詳しくまとめています。

葉の形態から調べられる葉っぱ検索もくじ、フィールドワークに適した服装や危険な動植物など、観察に役立つ知識も満載です。



『英国の幽霊城ミステリー』

織守 きょうや 文 山田 佳世子 イラスト

エクスナレッジ(388-オリガ)

首のない王妃が徘徊するロンドン塔、ドラムの音が響くエディンバラ城。城をさまよう幽霊たちは一体何者なのでしょう。その謎を解くには、英国の歴史を紐解かなければいけません。

幽霊や歴史ミステリーが好きな方におすすめの1冊です。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

最新ロジカル・シンキングがよくわかる本 今井 信行 著／秀和システム(336－イマイ)	いつか君が運命の人 宇山 佳佑 著／集英社(F－ウヤマ)
知識ゼロからのインボイス制度 眞鍋 泰治・神谷 了 著／幻冬舎(336－マナベ)	極楽征夷大將軍 垣根 涼介 著／文藝春秋(F－カキネ)
摂食障害がわかる本 鈴木 眞理 監修／講談社(493－セツシ)	華ざかりの三重奏 坂井 希久子 著／双葉社(F－サカイ)
「冷え症外来」の医師が教える冷えとり習慣 林 忍 著／イースト・プレス(493－ハヤシ)	きみはサイコロを振らない 新名 智 著／KADOKAWA(F－ニイナ)
これから始める Jw_cad の本 政家 諒 著／技術評論社(501－マサカ)	ユーチューバー 村上 龍 著／幻冬舎(F－ムラカ)
西洋の名建築解剖図鑑 川向 正人ーほか 編著／エクスナレッジ(523－セイヨ)	わたしのいけない世界 森 美樹 著／祥伝社(F－モリミ)
ワンルームから宇宙をのぞく 久保 勇貴 著／太田出版(538－クボユ)	突破屋 安東 能明 著／潮出版社(PF－アンド)
野菜の病気と害虫対策 BOOK 草間 祐輔 著／家の光協会(626－クサマ)	警視庁暴力班 石川 智健 著／朝日新聞出版(PF－イシカ)
英文読解を極める 北村 一真 著／NHK 出版(837－キタム)	辻斬り顛末 芝村 凉也 著／双葉社(PF－シバム)
自分流 辻 仁成 著／光文社(914. 6－ツジヒ)	賈富くじと若さま 汀 こるもの 著／角川春樹事務所(PF－ミギワ)

作家と



疎開

戦火を逃れ、多くの作家が疎開を経験しています。今回は江戸川乱歩について紹介します。
昭和20年6月、乱歩は当時50歳。池袋の自宅は空襲の被害を免れましたが、栄養失調が中々治らないため、疎開することを決めました。行先は福島県の保原町です。病気が快復する11月まで滞在していました。
疎開先に、大量の本を米俵に入れて運んだことや、病気がよくなると、福島市の図書館に通い調べものをしていたことなど、作家らしいエピソードが残っています。
そして現在保原市民センターの近くには、江戸川乱歩の疎開記念碑が建っています。興味がある方は、一度訪れてみてはいかがでしょうか？

参考文献：『江戸川乱歩全集 第29巻』江戸川 乱歩 著／光文社（P918-エドガ）

ライブラリアンの

奇妙

展示★名作案内

～不思議な世界へご案内～



様々な色・形に目を惹かれます

『粘菌生活のススメ』

新井 文彦 著 川上 新一 監修
誠文堂新光社(473－アライ)

動物でも植物でも、そして菌類でもない生き物「粘菌」。あまり知られていないその生態や姿を、写真とともに解説します。実際に出会えるスポット、標本の作り方、撮影方法なども掲載されています。



最も謎多きつまみは鼻？

『おつまみミステリー』

浅暮 三文 著
柏書房(596－アサグ)

死者を弔うお菓子だったレーズンバター。石鹸やベッドに使われた酢昆布…。古今東西のおつまみの謎に推理作家が迫ります。
メンマの正式名称とは？ カシユーナッツは木の実ではなかった？ などの雑学も楽しめます。

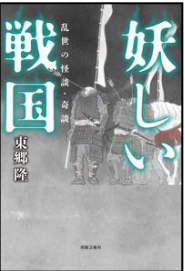


著者自身による挿し絵も見どころです

『飢渴の人』

エドワード・ケアリー 著 古屋 美登里 訳／東京創元社(933－ケアリ)

関わった誰もが魅了され、抜け出せなくなる巨大な船の話（「かつて、ぼくたちの町で」）。巨漢として見世物になった男が、ある屋へ向けた友情とその行く末を描く（「飢渴の人」）。16の短篇が、風変わりで不思議な世界へ誘います。



あの有名な戦国武将の怪談も！？

『妖しい戦国』

東郷 隆 著
出版芸術社(388－トウゴ)

予言する化け物と森蘭丸、魔に憑かれた上杉謙信、織田信長の髑髏盃など。戦国武将にまつわるものから、旅人が残したものまで戦国時代の怪談・奇談をご紹介します。

乱世で語られた、現代とはひと味違う怪奇の数々は必見です。



イチオシは「筋肉質な暗闇」！

『怪物学抄』

山村 浩二 作・絵
河出書房新社(726－ヤマム)

「引き籠るためのレシピ」、「背骨で計る思い出」。これらは全て怪物の名前です。どんな姿か想像できますか？ 本作にはまだまだ不思議な怪物たちが登場します。
彼らの織りなす不気味でキュートなショーの結末とは？